

公益社団法人  
日本美術教育連合  
令和3年（2021）度  
第11回 定時総会

Zoomシステムを用いた電子的方法による総会

令和3（2021）年5月16日（日）

第11回 定時総会

13：00-13：50

公益法人認定10周年記念シンポジウム2021

14：00-16：30

# 令和3（2021）年度 第11回定時総会

## 次 第

Zoom システムを用いた電磁的方法による

5月16日（日）13：00～

- ・ Zoom システムの作動確認
- ・ 開会の辞
- ・ 理事長挨拶
- ・ 総会成立確認
- ・ 議長及び議事録署名人選出
- ・ 議長就任
- 議 案 第1号議案 令和2（2020）年度事業報告の件
  - ① 第6期活動方針上半期報告
  - ② 令和2（2020）年度理事会等事業運営報告
  - ③ 公益目的事業1 令和2（2020）年度研究促進事業報告
  - ④ 公益目的事業2 令和2（2020）年国際事業報告
  - ⑤ 公益目的事業3 令和2（2020）年啓発・普及事業報告
  - ⑥ 美術教育連携交流担当報告
- 第2号議案 令和2（2020）年度決算及び監査報告の件
  - ① 貸借対照表
  - ② 正味財産増減計算書
  - ③ 財務諸表に対する注記
  - ④ 附属証明書
  - ⑤ 財産目録
  - ⑥ 貸借対照表内訳表
  - ⑦ 正味財産増減計算書内訳表
  - ⑧ 監査報告
- 報告事項1 令和3（2021）年度事業計画の件
  - ① 令和3（2021）年度理事会等事業運営計画
- 報告事項2 令和3（2021）年度収支予算案の件
  - ① 令和3（2021）年度予算書
- その他
- ・ 議長解任
- ・ 閉会の辞
- ・ 事務連絡

令和3（2021）年5月16日  
令和3（2021）度第11回定時総会

### 第6期活動方針上半期報告（案）

定款第3条に定める本法人の目的達成を目途として、第6期においては下記の事項を活動の基本方針とした。その上半期に当たる令和2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染予防を第一に、公益目的事業をはじめ、多くの事業や会議をオンラインによる開催とし、計画した事業のほとんどを実施することができた。

1. 活動を円滑に行うに必要な収支の安定を目指し、税額控除対象法人と認定されるべく努力する。  
→収支のバランスとしては安定しているが、予算規模の拡大はできていない。オンライン化を進めたことで、節約できた部分と予想外の支出もあった。
2. 新学習指導要領実施開始期あることなどを考慮し、実践的研究を一層奨励するとともに、時節に対応した研究など、会員及び社会にとってより有益な情報の発信を強化する。  
→造形・美術教育フォーラムに、文部科学省初等中等教育局教科調査官小林恭代氏を招聘し、「図画工作科における主体的・対話的で深い学びからの授業改善」と題する新学習指導要領による授業実践を考えるための講演会を開催した。
3. 「美術教育連絡協議会」をはじめとする美術教育関係諸団体のみならず、多様な分野の団体との情報交換、協調、協力関係を強化し、図画工作科・美術科の学びや社会における美術文化の重要性を造形・美術フォーラム等の開催などを通じて発信する。  
→本連合同様に、他団体もコロナウイルス感染予防の観点から多くの事業を中止もしくはオンライン化することとなり、団体間の交流に関しては目立った活動はなかった。
4. すべての人に開かれた日本美術教育研究発表会の拡充と、『日本美術教育研究論集』による研究交流の促進に取り組む。  
→逸早くオンラインによる事業展開に取り組み、日本美術教育研究発表会を Zoom システムによるオンラインで開催することができた。全国から容易く参加できるメリットを生かしつつ、今後の発表会の在り方を考えていく必要がある。
5. 造形・美術教育力養成講座の拡充に取り組むと共に、教育講演会等の一層の充実を図り、その成果を発信できるようにする。  
→DX が社会に浸透し、学校でも GIGA スクールが現実化する中で、これまでの美術教育観を発展させる内容で講師を招聘し、参加者にとって興味深い養成講座をオンラインで開催した。また、総会記念講演会や造形・美術教育フォーラムもオンラインでの開

催によって、多数の参加となった。

6. InSEAにおける日本の代表としての歴史を踏まえ、海外美術教育関係者及び団体との関係を強化し、海外からの研究発表者についても奨励する。  
→コロナ禍によって、海外との交流が難しい状況にあるが、InSEA 関係の出版物にかんする情報をニュースで提示した。

令和2（2020）年度理事会等事業運営報告（案）

[令和2（2020）年]

- 4月1日（水）  連合ニュースNo. 158発行  
・総会招集通知・第53回日本美術教育研究発表会2019中止報告  
・造形・美術教育フォーラム報告など
- 4月5日（日）  会計監査 令和元（2019）年度後期分  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- 4月12日（日）  令和2年度第1回理事会・運営委員会(第5期理事会担当)  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による  
・新型コロナウイルス感染予防対策に鑑み第10回定時総会の  
郵送による開催決議  
・会計監査報告・総会議案の確定・総会運営  
・総会記念リレー美術講演会の延期 など

[総会議案公開期間（2週間以上）4月15日～5月22日]

- 5月2日（土）  令和2（2020）年度第10回定時総会(第5期理事会担当)  
～22日（金） 新型コロナウイルス感染予防に鑑み、郵送による  
・会員からの議決通知書送付有効期間  
令和2年5月2日より同年5月22日まで（当日消印有効）  
・議案及び報告事項  
第6期役員選出  
令和元（2019）年度事業報告及び決算  
令和2（2020）年度計画及び予算
- 5月31日（日）  第10回定時総会（郵送による） 議決通知書集計確認のための  
臨時拡大理事会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による  
・総会成立確認  
・議長及び議事録署名人の選出  
・議案審議結果確認  
すべての議案の承認が確認された。  
・報告事項意見確認  
・その他全般に関する意見確認
- 第6期理事長選出のための臨時理事会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による  
・理事互選により大坪圭輔理事を第6期理事長に選出
- [第6期開始・各局の事業計画細案の企画／各局会及びメール等での調整]
- 6月7日（日）  第3回理事会・運営委員会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による  
・第6期理事会・運営委員会構成  
・第54回日本美術教育研究発表会2020のオンライン開催  
・各局事業計画  
・公益法人化10周年記念について  
・連合ニュースNo. 159企画
- 6月14日（日）  臨時理事会・運営委員会

- Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- ・総会記念リレー講演会の開催について
- 7月 1日 (水) □日本美術教育連合ニュースNo. 159発行
- ・総会報告
  - ・総会記念リレー講演会案内
  - ・「造形・美術教育力養成講座〈第6期〉」の企画広報及び参加者募集
  - ・「第54回日本美術教育研究発表会2020」の企画広報及び発表者募集
- 8月23日 (日) □第4回理事会・運営委員会
- Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- ・正味財産増減計算書収益・費用の配賦基準の変更に伴う定款細則の一部改正
  - ・「第54回日本美術教育研究発表会2020」の運営
  - ・総会記念リレー講演会
  - ・造形美術教育力養成講座
  - ・InSEA 団体加盟
  - ・連合ニュースNo. 160企画
- 総会記念リレー美術教育講演会
- Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- ・演題：バウハウスと日本の美術教育－「構成」・「造形」教育の系譜と現在
  - ・講師：長田謙一氏（東京都立大学客員教授）  
小林貴史氏（東京造形大学教授）  
藤原智也氏（愛知県立大学准教授）  
茂木一司氏（群馬大学教授）
- 9月18日 (金) □日本美術教育連合ニュースNo. 160発行
- ・「第54回日本美術教育研究発表会2020」の発表者一覧等
- 9月26日 (土) □造形・美術教育力養成講座 第6期
- Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- 第1回講座：アートへのアクセシビリティ再考
- ー#おうちでポーラ美術館の取り組みから
- 講師：東海林 洋氏（ポーラ美術館学芸員）
- 10月11日 (日) □第54回日本美術教育研究発表会2020
- Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- 発表数 27本
- 11月15日 (日) □第5回理事会・運営委員会及び論集編集委員会
- Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- ・第54回日本美術教育研究発表会2020報告
  - ・論文査読及び論集の編集
  - ・造形美術教育力養成講座
  - ・造形美術教育フォーラム
  - ・連合ニュース161号割付
  - ・内閣府実地調査
- 論集編集委員会
- Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- ・論文査読準備
- 11月21日 (土) □造形・美術教育力養成講座 第6期
- Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- 第2回講座：新しい授業参加を創造するデザイン
- 講師：桐山岳寛氏（大同大学）
- 12月20日 (日) □第6回理事会・運営委員会

Z o o mシステムを用いたオンライン方式による

- ・論文査読
- ・造形美術教育力養成講座
- ・造形・美術教育フォーラム
- ・内閣府実地調査終了報告
- ・第43回未来の科学の夢絵画展審査委員派遣

□論集編集委員会

Z o o mシステムを用いたオンライン方式による  
論文査読

□造形・美術教育フォーラム

Z o o mシステムを用いたオンライン方式による

演題：図画工作科における主体的・対話的で深い学びからの授業改善

講師：小林恭代氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）

### [令和3（2021）年]

1月 9日（土）

□造形・美術教育力養成講座〈第6期〉

Z o o mシステムを用いたオンライン方式による

第3回講座：ロボットやWe bを用いた新しい鑑賞教育のデザイン

講師：鈴木メイザ氏（株式会社オリィ研究所）

一条彰子（東京国立近代美術館学芸員）

1月23日（土）

□造形・美術教育力養成講座〈第6期〉

Z o o mシステムを用いたオンライン方式による

第4回講座：障害があるアーティストの表現の広がり

自立に向けての可能性

講師：中津川浩章氏（A r t I n t e r M i x代表 画家）

1月24日（日）

□第7回理事会・運営委員会

Z o o mシステムを用いたオンライン方式による

- ・理事の休職
- ・事業局運営委員長代行
- ・令和3（2021）年度第11回定時総会
- ・印章取扱規則
- ・公益社団法人化10周年
- ・内閣府実地調査指導事項報告
- ・論文査読状況及び予定
- ・造形・美術教育力養成講座実施状況
- ・造形美術教育フォーラム2020報告
- ・連合ニュースNo. 161割付等の確認
- ・令和2年度文化庁長官表彰報告

□論集編集委員会

Z o o mシステムを用いたオンライン方式による

- ・論文再査読

3月 7日（日）

□第8回理事会・運営委員会 会場：未定

Z o o mシステムを用いたオンライン方式による

- ・令和3（2021）年度第11回定時総会時試案及び議案
- ・令和3（2021）年度第11回定時総会記念講演会企画
- ・連合ニュースNo. 161企画
- ・代表理事職務執行状況報告

3月31日（水）

□日本美術教育研究論集2021No. 54刊行

4月 9日（金）

□会計監査 令和2（2020）年度後期分

書類審査による

- 4月11日（日）  令和3（2021）年度第1回理事会・運営委員会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- ・令和3（2021）年度第11回総会議案の確定
  - ・令和3（2021）年度第11回総会議案の公開
  - ・令和3（2021）年度第11回総会開催及び招集の通知
  - ・令和3（2021）年度第11回総会記念講演会企画
- 4月12日（月）  日本美術教育連合ニュースNo. 161発行
- ・第54回日本美術教育研究発表会2020報告
  - ・造形・美術教育フォーラム2020報告
  - ・造形・美術教育力養成講座〈第6期〉報告
  - ・令和3（2021）年度第11回定時総会招集通知及び記念講演会予告

[総会議案公開期間（2週間以上）]

- 5月16日（日）  第2回理事会・運営委員会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- 令和3（2021）年度第11回定時総会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による
- 令和3（2021）年度第11回定時総会記念講演会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による



公益目的事業1  
令和2(2020)年度 研究促進事業報告(案)

■令和2年度活動計画(令和2(2020)年6月7日の第3回理事会、運営役員会にて、承認) 研究局は、定款に基づいて「美術教育に関する研究発表会の開催並びに研究論集の刊行」を行う。第54回日本美術教育研究発表会2020を令和2年10月13日、オンラインにて開催する。『日本美術教育研究論集2021\_\_No.54』を令和3年3月31日刊行、会員に頒布する 研究発表会開催と研究会誌発刊が支障なく実施できる業務分担の構築と運営を確立する

■令和2(2020)年度活動報告

第54回日本美術教育研究発表会開催

日時:2020.10.11(日)9:00-17:00

場所:zoom上オンライン開催 形式:リアルタイム配信

発表件数 27件 参加者 72名

後援:文化庁

『日本美術教育研究論集 No.54 \_\_ 2021』刊行

2021年3月31日(日)刊行

掲載論文 Ⅰ群7件 Ⅱ群7件 Ⅲ群7件

■概要

コロナ状況下での研究発表会実施に向けて、オンラインでの開催実施を念頭に準備を行う。オンラインによる申し込み体制は確立されて、笠原運営委員、北川事務局運営委員、佐藤仁美局員のご尽力により支障なく実施された。また、集約された個人情報も安全に管理運用されて、関係者の情報共有が図られた。概要文の校正については、藤井運営委員と赤木研究局員が精力的に短期間で完了された。

連合ニュース159号(2020.7)に「第54回日本美術教育研究発表会2020一次案内」、および160号(2020.9)に「第54号日本美術教育研究論集2020【投稿および掲載要項】」、「入会申込書(学生・一般)」、「研究発表申込方法」を、最終案内と研究発表時間割を掲載した。

初めてのオンランによる研究発表会を実施した。小林運営員、林運営委員、山田運営委員、藤井運営委員のご尽力により発表者・運営者・司会者のリハーサルを実施、課題を共有することができた。また、笠原運営委員、手塚運営委員により、オンラインからの参加費決済が可能となった。当日の課題解決も運営役員各位のご対応により解消され、実施に向けた業務が遂行された。個人情報も安全に管理され、必要な情報が担当部署で共有した。また、北澤事務局長の奔走のおかげで、文化庁後援が実現した。

立川論集誌編集委員長の元、論集誌編集委員会が開催され、慎重な査読審議によって、I群（理論・実践研究）7件、II群（実践研究報告）7件、III群（研究ノート）7件が通過、21件が「第54号日本美術教育研究論集2021」を3月31日に刊行、会員に頒布された。

「投稿論文ループリック」および、「投稿規定」の提示・投稿論文に関する区分け「研究論文」「実践研究」「研究ノート」の位置づけ、および内容の掲載基準と規定を明確にするために各論文を構成する要件を明確にしたループリックを立川研究誌編集委員長から示された。「投稿規定」は研究誌に掲載され、「投稿論文ループリック」もHP,連合ニュースで公表される。これにより、投稿者の自己確認、査読者の審査基準の明確化により、透明性のある査読体制が構築できると考える。

「著作物規定」 - 本法人で取り扱う投稿論文等の著作物に関する規定を明確にして、今後広く公開することによって権利関係の透明性を図った。現在検討を継続している。

■令和3年度 研究局活動計画（令和3年度第11回定時総会にて報告）

研究局は「美術教育に関する研究発表会の開催並びに研究論集の刊行」（定款）を行う。

第55回日本美術教育研究発表会2021を令和3年10月17日（日）、開催地：未定

『日本美術教育研究論集2022\_No.55』を令和4年3月31日刊行、会員に頒布する。

研究誌発刊と研究発表会開催に向けての、諸条件の整備、より良い運営体制の構築を行う。

## 公益目的事業2

### 令和2（2020）年度国際事業報告（案）

#### ■令和2（2020）年度活動報告

1. 本年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、7月にスペインのバエサ（Baeza）で開催予定であったヨーロッパ地区会議、および11月にペルーのクスコ（Cusco）で開催予定であったラテンアメリカ地区会議が延期となった。また2021年10月に「持続可能な開発のための芸術教育」をテーマに、中国杭州の杭州師範大学で開催予定であった InSEA 世界会議も、2022年10月に開催延期となっている。これら情報を InSEA のニュースレターを通じて得ているが、HP等を通じての広報には至っておらず、今後の課題である。
2. 美術科教育学会が、国内2番目の InSEA 加盟団体となった。加盟に際して山木朝彦美術科教育学会代表理事から挨拶と、連合の InSEA 加盟の経緯について問合せがあり、国際局局員等が対応した。
3. 日本の研究論文を海外の美術教育関係者に発信するためにも、ホームページは大変有効な手段となる。ホームページの運用が軌道にのってきたことから、英訳への取り組みなど議論を行ったが、予算や人材について検討すべき事項があることから、実施には至らなかった。

#### ■令和3（2021）年度活動計画

1. InSEA のホームページには、世界各地のウェビナーの情報が提供され、また同時に YouTube でもその様子が配信されている。関係団体にも連絡をとりながら、日本発のウェビナーの開催を検討したい。
2. 2020年7月から延期されたヨーロッパ地区会議が、2021年7月6～9日にオンラインで開催される。また2020年11月から延期されたラテンアメリカ地区会議もオンラインで2021年11月24～27日に開催される。他に6つの地域で、それぞれ3つのウェビナーが計画されている。ウェビナーには InSEA 会員が無料で参加できることから、これら情報提供を、ニュースやホームページを通じて行う。
3. 第55回日本美術教育研究発表会 第3回国際ポスター研究発表部門の実施について、研究局と連携しながらホームページなどを通じて InSEA 会員に広報する。
4. InSEA JAPANとして、国内研究論文の海外発信や、また研究発表会などを利用した海外研究者との交流の可能性について検討を行う。
5. InSEA JAPANの窓口及び海外向け広報を目的としたホームページの作成を検討する。

令和3(2021)年5月16日  
令和3(2021)年度 第11回定時総会

### 公益目的事業3

令和2(2020)年度 啓発・普及事業報告(案)

令和2(2020)年度 第6期-1 造形・美術教育力養成講座

第1回講座「アートへのアクセシビリティ再考-#おうちでポーラ美術館の取り組みから」

日時:2020年9月26日(土)

講師:ポーラ美術館学芸員 東海林 洋 氏

第2回講座「新しい授業参加を創造するデザイン」

日時・場所:2020年11月21日(土)

講師:大同大学 桐山岳寛 氏

第3回講座「ロボットやWebを用いた新しい鑑賞教育のデザイン」

日時・場所:2021年1月9日(土)

講師:株式会社オリィ研究所 鈴木メイザ 氏、東京国立近代美術館学芸員 一條彰子 氏

第4回講座「障害者の作品を商品化する取り組み」

日時・場所:2021年1月23日(土)

講師:表現活動研究所ラスコー/Art InterMix 代表 画家 中津川浩章 氏

「造形・美術教育力養成講座」は2018年度から連続講座を開催してきた。そこでは美術及び美術教育を幅広くとらえ、社会における美術教育の理解を広げ、その拡充を図るとともに、子どもと造形表現に関する理解を深めたり、教育としての美術の可能性を考えたりするなど、講義と演習を通して教育実践力等を高める造形・美術教育力養成講座を実施してきた。

2021年度もその趣旨を踏まえ、「越境し拡張する美術-テクノロジーとコミュニケーション-」をテーマに全3回の連続講座を開催する。(各内容、日時は現時点では未定)当面、コロナウイルスの感染対策が必要な状況下、オンライン開催を基本とし、内容によっては少人数での対面による会場とオンライン参加者と結ぶハイブリッド方式での開催もあり得る。オンライン開催による講座は、時間や場所などの物理的な条件により今まで参加できなかった人も参加が可能となり公益法人としての社会貢献事業としての役割も果たせると考える。

懸案だった開催回数については、総時間数を変更することなく回数を減らし、1回あたりの開催時間を延長し、120分×3回の講座を開催する。

講師については今後選定していくが、テーマの「越境し拡張する美術-テクノロジーとコミュニケーション-」を実感でき、新たなチャレンジが生まれるような講話、またはワークショップをしていただけるような講師を選定していく。

参加費に関しては、内容に応じて材料費などの実費を含む参加費設定とした有料開催としていく。

- 名 称 日本美術教育連合「造形・美術教育力養成講座」第6期-2
- テーマ 「越境し拡張する美術 -テクノロジーとコミュニケーション-」
- 期 間 令和3年9月以降 令和4年3月末まで。全3回
- 内 容 未定
- 参加費 有料
- 参加方法 オンライン申し込みによる
- 参加人数 各講座30名を想定
- その他 全3回の内2回以上の参加者については 「造形・美術教育力養成講座修了認定書」  
を授与する。

令和3(2021)年5月16日  
令和3(2021)年度第11回定時総会

## 令和2(2020)年度美術教育連携交流担当報告(案)

### ■令和2(2020)年度活動報告

1. 《総会記念リレー美術教育講演会2020》は2020年5月10日(日)東京都立美術館講堂にてリアル開催予定であった。コロナ禍で3ヶ月余遅れ8月23日(日)に延期、〈バウハウスと日本の美術教育－「構成」・「造形」の系譜と現在〉と題してオンラインで実施した。第1部講師は長田謙一・東京都立大学客員教授、指定討論者は小林貴史・東京造形大学教授。第2部講師は、藤原智也・愛知県立大学准教授、指定討論者は茂木一司・群馬大学教授に依頼した。第3部は結城孝雄・東京家政大学教授、山口喜雄・元宇都宮大学教授も交え、橋本光明・すみだ北斎美術館館長の謝辞も含め「バウハウス100+1年」に相応しく多角的に研究を深めた。ZOOM開催によるオンラインのプラス面として北海道から鹿児島まで設定定員満員の100名の申込があった。

内訳は大学・短大41%、小・中・高30%、美術館・出版社8%、学生15%、一般6%で、前回から変化があった。理事会・運営委員会での企画検討、フライヤー・こくちーズ・著作権対応・ZOOM・広報が一丸となって準備した。写真画像・原稿おこし・スピーカーの貴重な図版提供、そして長期にわたる推敲を経て「《総会記念リレー美術教育講演会2020》の記録」を編集、『日本美術教育研究論集2021\_No.54』巻末に登壇者の発言全文を28頁に掲載し公知した。

2. 《造形・美術フォーラム2020》は講師を小林恭代教科調査官に依頼し、演題「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」で2020年12月20日(日)ZOOM開催で実施した。短期間の準備かつ歳末日曜午後であったが、東京24・神奈川7、千葉・埼玉各6を含み、北海道6から沖縄まで計70名の参加申込みがあった。内訳は大学・短大30%、小・中・高・特支50%、行政・美術館・出版社11%、学生7%、一般2%で、学校関係者の関心の高さに特色が見られた。講演大要とパワーポイント資料などを『(公社)日本美術教育連合ニュース161号』に4頁分の記事を掲載し公知した。

### ■令和3(2021)年度活動計画(案)

1. 《公益法人認定10周年記念シンポジウム2021》を2021年5月16日(日)にZOOM開催で計画している。発表者は本育連合理事・運営委員に依頼する。題目は「日本美術教育連合の公益社団法人化の意義とこれから」で、第1部の発表者は宮坂元裕前理事長、林耕史元事務局長・理事、西村德行元事務局長・理事、榎原弘二郎監事。第2部は藤井康子研究局運営委員、手塚千尋事業局運営委員長代行補佐、直江俊雄国際局運営委員、畑山未央事務局運営委員、橋本光明美術教育連携交流運営委員を予定している。

2. 《造形・美術フォーラム2021》に関しては、開催日や講演内容等を検討中である。

# 決算報告書

第11期

自 平成 2 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

公益社団法人日本美術教育連合

東京都文京区本郷二丁目30番14号  
文京ビル206号

## <目 次>

- (1) 貸借対照表 . . . . . P.1
- (2) 正味財産増減計算書 . . . . . P.2
- (3) 財務諸表に対する注記 . . . . . P.3
- (4) 附属明細書 . . . . . P.4
- (5) 財産目録 . . . . . P.5
- (6) 貸借対照表内訳表 . . . . . P.6
- (7) 正味財産増減計算書内訳表 . . . . . P.7



# (1) 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
1 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	847,980	853,756	△ 5,776
流動資産合計	847,980	853,756	△ 5,776
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,600,000	2,600,000	0
図 書	2,500,000	2,500,000	0
基本財産合計	5,100,000	5,100,000	0
(2) 特定資産			
新事業準備預金	33,769	33,352	417
特定資産合計	33,769	33,352	417
(3) その他固定資産			
敷 金	60,000	60,000	0
その他固定資産合計	60,000	60,000	0
固定資産合計	5,193,769	5,193,352	417
資産合計	6,041,749	6,047,108	△ 5,359
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,991,189	1,618,674	372,515
前受金	186,000	352,000	△ 166,000
流動負債合計	2,177,189	1,970,674	206,515
2. 固定負債			
長期借入金	350,000	450,000	△ 100,000
固定負債合計	350,000	450,000	△ 100,000
負債合計	2,527,189	2,420,674	106,515
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	3,514,560	3,626,434	△ 111,874
(うち基本財産への充当額)	(5,100,000)	(5,100,000)	0
(うち特定財産への充当額)	(33,769)	(33,352)	(417)
正味財産合計	3,514,560	3,626,434	△ 111,874
負債及び正味財産合計	6,041,749	6,047,108	△ 5,359

## (2) 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日

(単位)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	417	779	△ 362
受取入会金			
受取入会金	36,000	66,000	△ 30,000
受取会費			
受取正会員会費	1,351,000	1,486,000	△ 135,000
受取賛助会員会費	70,000	96,000	△ 26,000
事業収益			
論集広告料	140,000	180,000	△ 40,000
論集掲載料	451,500	672,500	△ 221,000
造形美術養成講座	85,096	88,000	△ 2,904
事業収入	62,269	0	62,269
受取補助金			
受取寄付金	10,000	10,000	0
受取利息	2	0	2
雑収益	64,950	137,900	△ 72,950
経常収益計	2,271,234	2,737,179	△ 465,945
(2) 経常費用			
事業費	1,942,831	2,168,190	△ 225,359
講師料	135,000	50,000	85,000
印刷製本費	897,159	1,086,870	△ 189,711
通信運搬費	192,003	280,630	△ 88,627
会議費	35,563	13,035	22,528
旅費交通費	6,732	50,330	△ 43,598
賃借料	302,225	275,100	27,125
消耗品費		22,073	△ 22,073
委託報酬	244,300	389,822	△ 145,522
雑 費	129,849	330	129,519
管理費	440,277	626,548	△ 186,271
会議費	9,542	115,641	△ 106,099
旅費交通費	1,900	188,596	△ 186,696
通信運搬費	86,703	56,423	30,280
賃借料	129,525	117,900	11,625
消耗品費	22,031	48,280	△ 26,249
印刷製本費	73,476	7,800	65,676
委託報酬	104,700	75,120	29,580
雑 費	12,400	16,788	△ 4,388
経常費用計	2,383,108	2,794,738	△ 411,630
<b>当期経常増減額</b>	△ 111,874	△ 57,559	△ 54,315
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益	673,500	673,500	0
過年度造形養成講座		673,500	△ 673,500
<b>経常外収益計</b>		673,500	△ 673,500
(2) 経常外費用			
過年度賃借料		276,710	△ 276,710
過年度講師料		273,000	△ 273,000
過年度賃借料		34,100	△ 34,100
過年度雑給		66,000	△ 66,000
その他諸費		19,310	△ 19,310
<b>他経常外費用</b>		669,120	△ 669,120
<b>経常外費用計</b>		669,120	△ 669,120
<b>当期経常経常外増減額</b>		4,380	△ 4,380
<b>当期一般正味財産増減額</b>	△ 111,874	△ 53,179	△ 58,695
一般正味財産期首残高	3,626,434	3,679,613	△ 53,179
一般正味財産期末残高	3,514,560	3,626,434	△ 111,874
<b>II 正味財産期末残高</b>	3,514,560	3,626,434	△ 111,874

### (3) 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記  
該当なし。
2. 重要な会計方針
  - (1) 有価証券の評価基準及び計  
該当なし。
  - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
該当なし。
  - (3) 固定資産の減価償却の方法  
該当なし。
  - (4) 引当金の計上基準  
該当なし。
  - (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲  
該当なし。
  - (6) 消費税の会計処理  
該当なし。
3. 会計方針の変更  
該当なし。
4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高  
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	2,600,000	0	0	2,600,000
図 書	2,500,000	0	0	2,500,000
小計	5,100,000	0	0	5,100,000
特定資産				
新事業準備預金	33,352	417	0	33,769
小計	33,352	417	0	33,769
合計	5,133,352	417	0	5,133,769

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳  
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	2,600,000		(2,600,000)	
図 書	2,500,000		(2,500,000)	
小計	5,100,000		(5,100,000)	
特定資産				
新事業準備預金	33,769		(33,769)	
小計	33,769		(33,769)	
合計	5,133,769		(5,133,769)	

6. 担保に供している資産  
該当なし。
7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
該当なし。
8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当期債権の当期末残高  
該当なし。
9. 保証債務等の偶発債務  
該当なし。
10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし。
11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。  
該当なし。
12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高は  
該当なし。
13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額  
該当なし。
14. 関連当事者との取引  
該当なし。
15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当なし。
16. 重要な後発事象  
該当なし。
17. その他  
該当なし。

## (4) 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	2,600,000	0	0	2,600,000
	図書	2,500,000	0	0	2,500,000
	基本財産計	5,100,000	0	0	5,100,000
特定資産	新事業準備預金	33,352	417	0	33,769
	特定資産計	33,352	417	0	33,769

### 2. 引当金の明細

該当なし。

## (5) 財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物置等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金預金			
	現金	手元保管	運転資金として	8,828
	振替貯金	ゆうちょ銀行	運転資金として	184,441
	通常預金	ゆうちょ銀行	運転資金として	654,711
	現金預金計			847,980
<b>流動資産合計</b>				<b>847,980</b>
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
	定期預金	三菱UFJ信託銀行上野支店 定期預金	運用益を公益目的事業及び法人会計に使用する	2,600,000
	図書	山形文庫 2,003冊 筑波大学芸術学系に保管	調査研究の資料として活用する	2,500,000
	基本財産計			5,100,000
<b>特定資産</b>				
	新事業準備預金	三菱UFJ信託銀行 上野支店普通預金	運用益を法人会計に積立てる。	33,769
<b>その他固定資産</b>				
	敷金	文京区本郷2-30-14文京ビル	事務所賃貸借契約 敷金	60,000
<b>固定資産合計</b>				<b>5,193,769</b>
<b>資産合計</b>				<b>6,041,749</b>
<b>(流動負債)</b>				
	未払金	上武印刷(株)	日本美術教育研究論集第53号 印刷製本代発送料メール便他	845,713
		上武印刷(株)	日本美術教育研究論集第54号 印刷製本代発送料メール便他	707,162
		上武印刷(株)	連合ニュース158 印刷製本代 送料	119,384
		上武印刷(株)	連合ニュース159 印刷製本代 送料	105,840
		上武印刷(株)	連合ニュース160 印刷製本代 送料	81,888
		上武印刷(株)	チラシ作成代	25,300
		北澤俊之	経費立替支払	41,352
		結城孝雄	経費立替支払	41,853
		その他4件	諸経費未払	22,697
		未払金計		1,991,189
	前受金			
		正会員受取会費	令和3年度受取正会員会費27名	162,000
		正会員受取会費	令和4年度受取正会員会費4名	24,000
		前受金計		186,000
<b>流動負債合計</b>				<b>2,177,189</b>
<b>(固定負債)</b>				
	長期借入金	宮坂元裕	運転資金借入金	350,000
<b>固定負債合計</b>				<b>350,000</b>
<b>負債合計</b>				<b>2,527,189</b>
<b>正味財産</b>				<b>3,514,560</b>

## (6) 貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	共通	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金			847,980		847,980
流動資産合計			847,980		847,980
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金			2,600,000		2,600,000
函 書			2,500,000		2,500,000
基本財産合計			5,100,000		5,100,000
(2) 特定資産					
新事業準備預金			33,769		33,769
特定資産合計			33,769		33,769
(3) その他固定資産					
敷 金			60,000		60,000
その他固定資産合計			60,000		60,000
固定資産合計			5,193,769		5,193,769
資産合計			6,041,749		6,041,749
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金			1,991,189		1,991,189
借入金					
前受金			186,000		186,000
流動負債合計			2,177,189		2,177,189
2. 固定負債					
長期借入金			350,000		350,000
固定負債合計			350,000		350,000
負債合計			2,527,189		2,527,189
III 正味財産の部					
1. 一般正味財産	△ 2,526,115	20,706	6,019,969		3,514,560
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(5,100,000)		(5,100,000)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(33,769)		(33,352)
正味財産合計	△ 2,526,115	20,706	6,019,969		3,514,560
負債及び正味財産合計	△ 2,526,115	20,706	8,547,158		6,041,749

## (7) 正味財産増減計算書内訳表

平成2年4月1日から令和3年3月31日

(単位：円)


科 目	公益目的事業会計				共通	法人会計	内部取引消去	合計
	研究促進事業	国際事業	啓発・普及事業	小計				
(1) 経常外収益								
過年度造形養成講座								0
経常外収益計								0
(2) 経常外費用								
① 他経常外費用								
過年度賃借料								
過年度講師料								
過年度賃借料								
過年度雑費								
その他諸費								
経常外費用計								
当期経常外増減額								
当期一般正味財産増減額	△ 341,557	△ 25,969	△ 249,430	△ 616,956		505,082		△ 111,874
一般正味財産期首残高	332,969	△ 72,908	△ 2,169,220	△ 1,909,159	20,706	5,514,887		3,626,434
一般正味財産期末残高	△ 8,588	△ 98,877	△ 2,418,650	△ 2,526,115	20,706	6,019,969		3,514,560
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 8,588	△ 98,877	△ 2,418,650	△ 2,526,115	20,706	6,019,969		3,514,560

# 監査報告書

令和3（2021）年4月9日

公益社団法人 日本美術教育連合  
理事長 大坪 圭輔 殿

公益社団法人 日本美術教育連合

監事 榎原弘二郎 

監事 宮坂 元裕 

私たち監事は、令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）における事業報告等、財務諸表等及び理事の職務執行状況の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録について検討いたしました。

## 2. 監査意見

- (1) 事業報告等（事業報告及びその附属明細書）は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録）は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上



令和3（2021）年度理事会等事業運営計画

[令和3（2021）年]

- 4月9日（金）  会計監査 令和2（2020）年度後期分書類審査による
- 4月11日（日）  令和3（2021）年度第1回理事会・運営委員会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による  
・令和3（2021）年度第11回定時総会準備  
・会計監査報告  
・総会議案の確定  
・総会運営  
・総会記念講演会企画
- 4月12日（月）  連合ニュースNo. 161発行  
・令和3（2021）年度第11回定時総会招集通知  
・造形・美術教育フォーラム報告など

[総会議案公開期間（2週間以上）]

- 5月16日（日）  第2回理事会・運営委員会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による  
・総会運営確認  
・記念講演会運営確認  
・連合ニュースNo. 162企画
- 令和3（2021）年度第11回定時総会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による  
・令和2（2020）年度事業報告及び決算  
・令和3（2021）年度計画及び予算
- 公益社団法人化10周年記念講演会  
Zoomシステムを用いたオンライン方式による

[各局の事業計画細案の企画（各局会及びメール等での調整）]

- 6月6日（日）  第3回理事会・運営委員会  
会場及び方法：未定  
・第6期下期理事会・運営委員会構成  
・第55回日本美術教育研究発表会2021計画  
・各局及び担当事業計画
- 6月  連合ニュースNo. 162発行  
・総会報告  
・第55回日本美術教育研究発表会2021告知及び発表者募集  
・「造形・美術教育力養成講座〈第6期〉」の企画広報及び参加者募集

[造形・美術教育力養成講座〈第6期〉実施（詳細は事業局の計画による）]

- 8月29日（日）  第4回理事会・運営委員会  
会場及び方法：未定  
・「第54回日本美術教育研究発表会2020」の運営準備  
・第7期役員選挙選挙管理委員会の設置  
・連合ニュースNo. 163企画
- 論集編集委員会

- 会場及び方法：未定
- ・発表者確定
  - ・査読担当者の検討
- 9月
- 10月17日（日）
- 日本美術教育連合ニュースNo. 163発行
    - ・「第55回日本美術教育研究発表会2021」の発表者一覧等
  - 第55回日本美術教育研究発表会2021
    - 会場及び方法：未定
  - 会計監査 令和3（2021）年度前期分
- 11月14日（日）
- 第5回理事会・運営委員会
    - 会場及び方法：未定
      - ・第54回日本美術教育研究発表会2020報告
      - ・造形・美術教育フォーラム2021企画
      - ・第7期役員選挙準備
  - 論集編集委員会
    - 会場及び方法：未定
      - ・論文審査準備
- [第7期役員選挙実施（詳細は選挙管理委員会の計画による）]
- 12月19日（日）
- 第6回理事会・運営委員会
    - 会場及び方法：未定
      - ・造形・美術教育フォーラム運営
      - ・第7期役員選挙実施状況報告
  - 論集編集委員会
    - 会場及び方法：未定
      - ・論文査読
- [造形・美術教育フォーラム実施（詳細は美術教育連携交流担当の計画による）]
- [令和4（2022）年]
- 1月23日（日）
- 第7回理事会・運営委員会
    - 会場及び方法：未定
      - ・第7期役員選挙結果報告
      - ・令和4（2022）年度第12回定時総会の開催確認
      - ・造形・美術教育力養成講座実施状況報告
      - ・造形・美術教育フォーラム実施業況報告
      - ・連合ニュースNo. 164企画
  - 論集編集委員会
    - 会場及び方法：未定
      - ・論文再査読
- [第7期理事会準備会（第7期役員候補者の調整による）]
- 3月6日（日）
- 第8回理事会・運営委員会 会場：未定
    - ・令和4（2022）年度第12回定時総会準備
    - ・令和3（2021）年度事業報告
    - ・令和3（2021）年会計報告
    - ・令和4（2022）年度第12回定時総会記念講演の企画
    - ・連合ニュースNo. 164準備
- 3月31日（木）
- 日本美術教育研究論集2022No. 55刊行
- 4月
- 会計監査 令和3（2021）年度前後期分
    - 会場及び方法：未定
- 4月10日（日）
- 令和4（2022）年度第1回理事会・運営委員会（第6期役員担当）
    - 会場及び方法：未定

- ・令和4（2022）年度第12回定時総会議案の確定
  - ・令和4（2022）年度第12回定時総会開催及び招集の通知
  - ・令和4（2022）年度第12回定時総会記念講演会準備
- 4月
- 日本美術教育連合ニュースNo. 164発行
  - ・第55回日本美術教育研究発表会2021報告
  - ・造形・美術教育フォーラム2021報告
  - ・造形・美術教育力養成講座〈第6期〉報告
  - ・令和4（2022）年度第12回定時総会招集通知
  - ・令和4（2022）年度第12回定時総会記念講演会の予告

[総会議案公開期間（2週間以上）]

- 5月15日（日）
- 第2回理事会・運営委員会（第6期役員担当）  
会場及び方法：未定
  - 令和4（2022）年度第12回定時総会（第6期役員担当）  
会場及び方法：未定
  - 令和4（2022）年度臨時理事会（第7期理事及び監事選出者担当）  
会場及び方法：未定
  - ・第7期理事長選出
  - 令和4（2022）年度第12回定時総会記念講演会（第6期役員担当）  
会場及び方法：未定

収支予算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日

公益社団法人 日本美術教育連合

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				共 通	法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究促進事業	国際事業	啓発・普及事業	小 計				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益								
基本財産受取利息			600	600		600		1,200
特定資産運用益								
特定資産受取利息								
受取入会金								
受取入会金	4,500		13,500	18,000		27,000		45,000
受取会費								
受取正会員会費	129,000		387,000	516,000		774,000		1,290,000
受取賛助会員会費	15,000		45,000	60,000		90,000		150,000
事業収益								
論集広告料	150,000			150,000				150,000
論集掲載料	550,000			550,000				550,000
造形美術養成講座			150,000	150,000				150,000
受取補助金等								
受取寄付金	5,000		15,000	20,000		30,000		50,000
雑収益								
受取利息			500	500		500		1,000
雑収益								
経常収益計	853,500		611,600	1,465,100		922,100		2,387,200
(2) 経常費用								
事業費	1,222,783	0	555,217	1,778,000				1,778,000
講師料費			40,000	40,000				40,000
消耗品費	1,920		3,080	5,000				5,000
印刷製本費	857,690		137,310	995,000				995,000
通信運搬費	58,580		86,420	145,000				145,000
諸謝金	28,800		31,200	60,000				60,000
会議費			50,000	50,000				50,000
賃借料	155,883		117,117	273,000				273,000
委託報酬	119,910		90,090	210,000				210,000
管理費						494,000		494,000
会議費						165,000		165,000
旅費交通費						10,000		10,000
通信運搬費						10,000		10,000
賃借料費						177,000		177,000
消耗品費						2,000		2,000
印刷製本費						5,000		5,000
支払負担金						30,000		30,000
委託報酬						90,000		90,000
雑費						5,000		5,000
経常費用計	1,222,783		555,217	1,778,000	0	494,000	0	2,272,000
当期経常増減額	△ 369,283		56,383	△ 312,900	0	428,100		115,200
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計								
(2) 経常外費用								
経常外費用計								
当期経常外増減額								
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	△ 369,283		56,383	△ 312,900		428,100		115,200
一般正味財産期首残高	332,969	△ 72,908	△ 2,169,220	△ 1,909,159	20,706	5,514,887		3,626,434
一般正味財産期末残高	△ 36,314	△ 72,908	△ 2,112,837	△ 2,222,059	20,706	5,942,987		3,741,634
II 指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額								
一般正味財産への振替額								
当期指定正味財産増減額								
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高								
III 正味財産期末残高	△ 36,314	△ 72,908	△ 2,112,837	△ 2,222,059	20,706	5,942,987		3,741,634

## 収支予算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日

配賦基準 収益関係は

(単位:%)

科 目	公益目的事業会計				共 通	法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究促進事業	国際事業	啓発・普及事業	小 計				
基本財産受取利息			50%	50%		50%		100%
受取入会金	10%		30%	40%		60%		100%
受取会費正会員会費	10%		30%	40%		60%		100%
受取会費賛助会員会費	10%		30%	40%		60%		100%
事業収益論集広告料	100%			100%				100%
事業収益論集掲載料	100%			100%				100%
造形美術養成講座			100%	100%				100%
受取寄付金	10%		30%	40%		60%		100%
受取利息			50%	50%		50%		100%
雑収益								

注 雑収益は各部門実際発生金額とし配賦しない。

配賦基準 事業費関係は

科 目	公益目的事業会計				共 通	法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究促進事業	国際事業	啓発・普及事業	小 計				
消耗品費	38.4%		61.6%	100.0%				100.0%
印刷製本費	86.2%		13.8%	100.0%				100.0%
通信運搬費	40.4%		59.6%	100.0%				100.0%
諸謝金	48.0%		52.0%	100.0%				100.0%
会議費	57.1%		42.9%	100.0%				100.0%

注1. 事業費は全ての科目金額は前々事業年度の部門別実際発生額割合で按分します。

但し賃借料費と委託報酬は期中は法人部門で支払うが期末に公1、公2,法人部門に各々40%、30%、30%の割合配賦します。

注2. 管理費は上記の振替を除き全て法人会計部門の負担とする。